

福岡観世会定期能

平成三十(第二回)

能 高 たか

砂 さご

坂口

貴信

狂言

鐘 かね の音 ね

野村

万禄

能

松浦佐用姫 まつら さよひめ

観世

清和



とき 5月19日(土) 午後1時始
 ところ 大濠公園能楽堂
 入場券 自由席 7,000円
 発売所 大濠公園能楽堂事務所
 092-715-2155



高

今村嘉太郎
坂口 貴信
須磨源氏
井筒
屋島
木月
今村 晶子
今村 宮子
美貴
地謡
松田美栄子
長宗 敦子
菊本 澄代
多島法子

間

後見
山口剛一郎
坂口 信男
吉住 講
小倉要二郎
関根 祥丸
井内 政徳
久保誠一郎
武富 昭
森本 哲郎
鷹尾 維教
鷹尾 章弘

△休憩十五分△

鐘の音

野村 万禄
吉良 博靖

素謡

忠度

今村 嘉伸
今村 一夫
地謡

△休憩十五分△

松浦佐用姫

親世 清和
福王茂十郎

能

白坂 信行
飯田 清一
森田 徳和

間

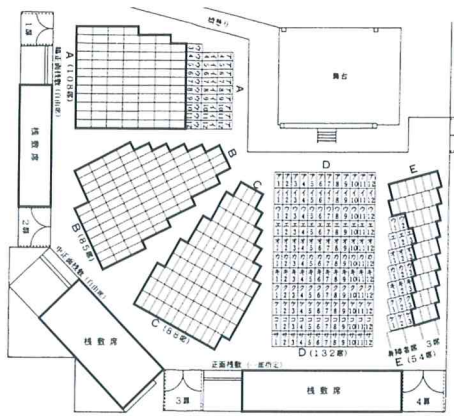
野村 万禄

後見
坂口 貴信
木月 孚行

地謡

井内 政徳
今村嘉太郎
久保誠一郎
今村 一夫
森本 哲郎
多島利之
角 寛次朗
今村 嘉伸

附祝言



※番号が書かれていない席は自由席です ※棧敷席は自由席です

高砂

夫婦和合、寿命長遠、国土安穩の言霊溢れる、おめでたい能にて、神能髓一
の人氣曲です。
阿蘇宮の神主友成は、住吉神社へ向かう旅の途中で、高砂の浦で御神木の
松の木陰を掃き清めていた老夫婦に出会います。
相生の松のいわれを尋ねる友成に、その尉と姥は、住吉と高砂の松は別々
の地に在りながらも夫婦一体の神であり、松は国の平和に連なること、その
松の葉を集める行為は言の葉を集め、国の繁栄を祈る歌道に通じると答えま
す。語る内に、実は我がらがその相生の松の精である、住吉にて待つと明かし
て、小舟に乗り沖に消えてゆきました。
浦に住む者から、住吉に行くよう勧められた友成は、高砂の浦より船に乗
り込みます。
住吉に着くと、住吉明神が現れ、千秋万歳を寿ぎます。

松浦佐用姫

松浦佐用姫伝説を素材にした能です。万葉集山上憶良の歌の引用により、
太古の恋物語がより鮮明によみがえります。
西国修行の旅僧が肥前国松浦を尋ね、名所として世に知られるその辺り
の景色を眺めていると、釣り竿を持った海士乙女が現れ、鏡を抱いて松浦
川に身を投げた佐用姫を祀った鏡宮への参拝を勧め、松浦姫とも呼ばれた
佐用姫と狭手彦との物語を語ります。そして乙女は、妄執からの救済を僧
に請い、伝法の印として袈裟を授かったお札に狭手彦ゆかりの鏡を見せる
ことを約束して姿を消します。
この地の者が、松浦佐用姫の悲恋を更に詳しく語り、僧は先程の海士乙
女が佐用姫の霊であることを知ります。
果たして僧の夢の中に、佐用姫が現れます。鏡には狭手彦の姿が映り、
姫は強い恋慕の執心を懺悔しつつ、狂おしい姿とまさに往事の投身の場面
を見せたところで、僧の夢は覚めます。

第二回予告

平成30年12月1日(土)午後1時始

能 景 清 多島利之
能 狂言 寝音曲 野村 万禄
能 富士太鼓 森本 哲郎